

普通階・無窓階算定書

記載例

防火対象物名称： ○○店鳥取支店

(1 階) 階ごとに算定してください。

算定者氏名 東部 太郎

床面積 (A)		基準開口面積 (A / 3 0)		有効開口部面積合計		算定結果		※ 消防機関判定	
600.00 m ²		20.00 m ²		28.62 m ²		普・無		普・無	
開口部位置	建具記号	開口部種別	硝子種別 厚さ	床からの 高さ (m)	幅 (m) × 高さ (m) × 所在数	開口部面積 小計 (m ²)	備考		
東	AW-1	引違い窓	普通 6 mm	1.1	0.8×1.0×5	4.0			
東	AW-2	引違い窓	網入り 6.8 mm	1.2	0.8×0.6×4	1.92			
東	AD-1	片開き戸 サムターン	普通 6 mm	0	1.0×2.2×2	4.4			
西	AW-1	引違い窓	普通 6 mm	1.1	0.8×1.0×7	5.6			
西	AW-3	FIX	普通 6 mm	1.0	0.6×1.5×3	2.7			
南	SS-1	水圧開放 装置付		0	2.5×4×1	10.0			
算定できる開口部はすべて算定してください。									

記入しないでください。

- 備考 1 消防法施行規則 5 条の 5 の規定の適合する開口部のみ計上してください。
- 2 直径 1 m 以上の円が内接することができる開口部、又は幅 75 cm 以上、高さ 1.2 m 以上の開口部については、その建具記号を○で囲んでください。
- 3 「開口部種別」欄には、「引違い窓」・「堅軸回転窓」・「水圧開錠装置付」・「水圧開放装置付」等の種別を記入してください。
- 4 「床からの高さ」欄には、床面から開口部下端までの高さを記入してください。
- 5 算定書は、防火管理維持台帳等に綴じてください。また、算定書の次に配置図、立面図、キープラン及び建具表を綴じて、有効と算定した開口部を朱色で示してください。
- 6 開口部の取扱いについては、東部消防局指導基準「無窓階の取扱い」を参照してください。
- 7 ※欄には記入しないでください。